

社会福祉だより

# 志あわせ

2024年4月  
(令和6年)

174号



わが町の  
ボランティア

## 智頭町赤十字奉仕団



炊き出し訓練

町水防訓練

智頭町身体障害者福祉協会事業  
のお手伝い



デイサービス  
心和苑での  
ボランティア



### 智頭町赤十字奉仕団

「陰の力となって奉仕する」の赤十字の信条のもと様々な場面で、ボランティアを続けています。現在24名で活動中です!!

# 対談

会長 津田 英樹



事務局長 高田 昌史



多発する自然災害や感染症の蔓延による緊急事態を乗り切るために必要なことについて対談しました。

●高田

昨年は、台風7号豪雨災害がありました。そして、今年の元日には大きな地震が起きてしまいました。

●津田

とても驚きました。実は、昨年の秋に輪島市を訪れることがあり、その時に目で見た町、家やそこに住んでいる人たちが被害にあったと思うと、とても心配になります。

●高田

災害はいつどこで起きても愕然としますが、自

分の知っているところで災害が起きてしまうと、とても心配になりますよね。ただ、こうした災害が起きたときこそ何が求められるか、何をすべきなのかを考えさせられます。災害が起こった場合に社協が行うことは、安否確認や被害状況の把握、被害者への支援、義援金の呼びかけ、ボランティアセンターの運営など担う役割は多岐にわたります。

## 孤立を防ぐ

●津田

災害時に社協が取り組むべきことの多くは、孤立を防ぐことにつながります。孤立を防ぐと言うと、曖昧でわかりにくいところがありますが、難しく考える必要はなく、日頃から、いざという時に、どこに逃げるのか、



どこに集まるのか、地域に逃げ遅れそうな人はいないのかを地域に暮らす一人一人が知っておくだけでもいいんですよ。

●高田

確かに、被害の大きさにもよりますが、外からの支援には時間がかかります。今回の能登半島地震でも、交通手段の遮断などの問題で、外から支援に入るまでにかかなりの日数が経過していましたね。智頭町でも、これまでに大雪や豪雨の影響で道が遮断され、陸の孤島になったことがありますね。

## 社協に求められて いること

●津田  
外からの支援に時間が  
かかるとなると、やはり  
近くにいる人や物で何と  
か乗り切る必要があります  
ね。

### 地域で支え合う

●高田  
智頭町社協では、「防  
災福祉マップづくり」へ  
取り組むことを各集落へ  
呼び掛けています。現在、  
61集落で取り組まれてい  
ます。災害が起こってし  
まう前から、避難場所や  
避難経路、支援が必要な  
人がどこに住んでいて、  
誰が支援できるのか等を  
地域住民同士で話し合い、  
備えておくことで、災害  
の被害を抑えることがで  
きます。

●津田  
防災福祉マップづくり  
を通じて自分の住んでい  
る環境を知り、地域住民  
同士でつながりを持って、  
日頃からいざという時に  
備えておくことがとても  
大切です。

### 感染症も災害

●津田  
災害は、地震や異常気象  
以外にも、新型コロナウイルス  
感染症のように感染  
力の高い感染症の蔓延も  
災害といえます。新型コロ  
ナウイルス感染症の影響  
は言うまでもないですね。  
感染予防対策では、5類に  
なった今でも、とても苦勞  
していますよね。

### サービスが継続できる 体制づくり

●高田  
智頭町社協は、介護

サービス事業や障がい福  
祉サービス事業を運営し  
ています。どの事業も『住  
み慣れた町で安心して暮  
らし続ける』ための重要  
な資源です。だからこそ  
災害が起きた場合でも、  
サービスが継続的に提供  
できる体制を構築するこ  
とが求められます。その  
ために、智頭町社協では  
業務継続計画（BCP）  
を策定しています。業務  
継続計画では、サービス  
の優先順位や必要な対応  
が計画されています。た  
だ、計画は立てたが、計  
画を遂行する職員が行動  
できないということとは、  
よくある話です。

●津田  
今年1月には、鳥取県  
社協と協働で災害ボラン  
ティアセンター運営者研  
修会を行いましたよね。

町内で起こり得る災害を  
想定して、職員だけでは  
なく、多くの関係者や関  
係機関の方と一緒に取り  
組むことができたこと  
は、非常に良い経験となっ  
たのではないでしょう  
か。日頃から職員自身が災  
害などの緊急事態にどのよ  
うに対処するのかを理解  
しておくことが不可欠で  
す。

●高田  
これからも計画の遂行  
や訓練を実施して、状況  
の変化に合わせた柔軟な  
対応ができる職員の育成  
に力を入れて取り組んで  
いきます。



# きょうちゃんが行く!!

～智頭町災害ボランティアセンター運営者研修編～



2024年1月17日(水)・18日(木)、智頭町保健医療福祉総合センターほのぼの、ひだまりホールを会場に、智頭町災害ボランティアセンター運営者研修を開催しました。町内社協関係者、住民の皆さん、町外各市町の社協職員、近県からも奈義町社協、西粟倉村社協の職員、総勢75名が参加しました。



日野ボランティア・ネットワーク  
山下弘彦氏

1日目は、日野ボランティア・ネットワーク代表、山下弘彦氏からセンター運営についての講義を聞き、実際に災害時ボランティアセンターに寄せられたニーズ事例をグループごとに検討し全体で共有しました。



グループワークの様子



昨年の台風7号災害時の鳥取市災害ボランティアセンター運営の報告



災害時におけるペット飼育者への対応・課題について  
『人と動物の共生センター』松本章太氏の特別報告

2日目は同会場で、災害ボランティアセンター模擬訓練を実施。センタースタッフ役、ボランティア役、被災者役に分かれセンター運営を実際に体験。



ボランティア役の  
ブーちゃん

すぐに活動したいけど  
待たされると不安  
ありがたい言葉は  
嬉しい



資材受取



受付



活動報告



マッチング



スタッフ役の  
きょうちゃん

ボランティアには  
個人や団体など  
いろんな方が来られるから  
対応も大変

スタッフ役の  
ふくちゃん



ニーズ調査



被災者



本部・総務

家屋の被害以外にも困っていることが無いかな  
被災された方が今一番優先して対応してもらいたいことは何か  
センターに来られない人のために聴き取りに訪問することも大切

丁寧な対応はうれしい  
受付で待たされる、後先になると気分が悪い  
障がいのある方、外国人の方でも対応してもらえるのはありがたい

ボランティアセンター運営全般の調整  
その問い合わせは何処に繋げれば良いか、どこまでをボランティアセンターで行えるかの整理  
情報収集・発信、広報は重要

今回の訓練は、災害時の支援がどのようにあったらいいか、住民・地域の様子をイメージしながら、実践的に行いました。混乱なく動くことを目的とせず、それぞれが状況に応じて判断、相談し、少しでもセンター業務を改善できるように、あえて負荷をかけた内容でした。

今回、参加された皆さんが訓練での経験を持ち帰り日頃の活動に少しでも生かされたらと思います。



赤十字奉仕団の皆さんにも炊き出し訓練で参加していただきました

# 令和6年度 ボランティア活動保険

令和6年3月  
受付開始!!

～ボランティア中のもしもの備えに～

【令和6年度加入プラン】



雪かきボランティア



ちづパトロール隊 登校見守り

		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
	年間保険料	350円	500円	

☆令和6年3月中に加入申込手続きを完了された場合の補償期間は、  
令和6年4月1日～令和7年3月31日

中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日から補償します。  
※詳しい補償内容や加入手続きについては、社協へお問合せください。

お問合せ：総務課 電話75-2326



# 勝手に表彰!

第37号



やすはら けん に  
**安原健二**さん(富沢)

新見集落のミニデイ代表やいきいき百歳体操のお世話をしている安原さんを紹介します。

8年前に智頭町に帰郷した安原さん。最初は、集落の様子が分からず早く地域に馴染めるように、ミニデイや地域の

行事に参加して、地域の方との関係を築いていきました。

現在は、高齢者の方への見守りや声掛けを意識して、いつでも気軽にお話ができる環境を大切にされています。また今年度、智頭町のフレイル予防サポーターに認定され、益々活躍の場を広めていかれることを期待しています。

私生活では、旅行や麻雀、音楽鑑賞など自分の時間も大事にされていて、様々なことに興味や関心を持ち続けています。

「地域の方に頼りにしてもらいたい」「自分自身の良い経験になれば」と、積極的に地域活動に取り組む安原さんを、勝手に表彰します。



## 「志あわせ」の ご意見・ご感想を お寄せください

抽選で2名様に  
プレゼントを進呈  
します。



### ①応募方法

ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

### ②応募先

〒689-1402  
智頭町智頭1875番地  
智頭町社会福祉協議会 総務課  
電話：75-2326  
メール：chizu0804@jade.plala.or.jp

### ③締め切り

2024年4月30日(火)

※当日消印有効

▼ 毎回楽しみに読ませていただいています。にこにこ笑顔で元気に活動されているミニデイやサロンの紹介を見ると、知っている人の写真が載っていて「あら、この人!今度会ったら声かけよう」とか記事の中にも「社協に出て相談したら?志あわせに載ってたよ。」と困っている人や不安をかかえている人に教えてあげられることがいっぱい。私をはじめ、皆さんに元氣と勇気を与えてくれるおたよりです。(山形 60代女性)

☆ご感想ありがとうございました。(富沢 60代男性)

いました。とても笑顔がすばらしかったです。コロナが蔓延し始めてから以降、介護認定率・認知症出現率が全国的にアップしています。介護認定率が上がったということは、要介護のお年寄りや認知症の方が増えたということですよ。フレイル予防には3つの予防策があります。

1つ目は、栄養たんぱく質、肉や魚を食べること。2つ目は運動、3つ目は社会参加です。社会参加はミニデイやふれあいサロンなどに参加し、自分のできる役割を持つことです。これは元氣が出る、笑顔の出る秘訣ですよ!皆さん地域や集落の行事に参加しましょう!

## 読者の ひろば



# ご寄付ありがとうございました

(2023年12月~2024年2月まで)

- \***一金100,000円** 匿名
- \***金一封** 本折・久志谷解放子ども会 様  
大藤 恵子 様
- \***クリスマス献金 5,000円** (ぱれっと三田へ)  
城西教会 様
- \***切手 28,148円分** (智頭町身体障害者福祉協会へ)  
(一財)中国地方郵便局長協会  
因幡地区郵便局長会 様
- \***介護用ベッド** 中村 寿幸 様
- \***新米 (心和苑へ)**  
JA鳥取いなば女性会  
智頭支部 様
- \***古布・タオル・裁断布 等**  
安住 正江 様  
岩本 富美男 様 匿名多数
- \***ぱれっと三田・自立の家・あおぞら (グループホーム)**  
**配食サービスの各種食材**  
各地区給食ボランティア 様 匿名多数



# 社協広報誌「志あわせ」 掲示板

このコーナーから仲間づくりを発信しています。皆さまからの投稿をお待ちしています。



お待ちしております!



## 募集中

### 【掲載内容】

- ①智頭町在住の皆さんによる仲間づくり
- ②150文字程度
- ③写真1枚程度

お問合せ：総務課 電話75-2326

## 令和6年度 ゴミ箱助成のご案内

■募集数：4台

■内容

- ・規格サイズのゴミ箱にかかる購入費の半額を助成
- ・1町内会・集落あたり1台まで
- ・応募多数の場合は抽選とします

■申込期限：2024年4月30日(火)

■申込先：総務課 電話 75-2326



香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

2			1			12			月					
三〇、〇〇〇	金一封	金一封	二〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	ご寄付額(円)	
智頭	大呂	智頭	三田	中田	智頭	郷原	駒帰	智頭	西字塚	芦津	智頭	坂原	奥本	住所
山本幸子	上河原康郎	佐々木悟	細田豊子	佐々木純子	萩原学	河野花子	横川洋一	岡田明	國政勝子	綾木孝一	青木淳	国岡瞳	安住勉	故人のお名前
85	80	90	84	83	67	103	82	75	84	93	84	90	87	年齢
山本幸一	上河原和子	坂本佳苗	細田英一	佐々木達也	萩原崇史	河野	横川美智子	岡田康行	國政敬祐	寺谷誠太郎	青木浩之	国岡慎二	安住陽一朗	寄付者(ご芳名)

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

(2023年12月~2024年2月まで)

香典返し等寄付金ありがとうございました

## ふれあいサロン紹介

•登録数 110グループ •登録者数 1,599人 (3月1日現在)

Vol.75

### 木原支え愛クラブ(土師)

木原支え愛クラブは、毎週火曜日に会員15名が木原公民館に集まって、いきいき百歳体操を頑張っています。

活動のきっかけは、支え愛マップづくりを行い「日頃から住民同士の関わりや情報共有ができる場が必要だ」と皆さんが感じたのと、「フレイル予防」を目的に始まりました。

今年で、4年目。毎週会うことで気心も知れ、和やかな雰囲気の中で楽しみながら活動しています。この日は理学療法士の先生からアドバイスをもらい、「1, 2」と声を出しながら体操をしました。すると、“息が弾み、汗をかき、より効果を実感できる”新たな気づきがあり、これからの活動の意欲につながりました。

いきいき百歳体操を通して健康維持・情報交流をするなど、みんなが集まる“木原支え愛クラブ”。お互いが支え愛ながら、自分達のできる範囲で続けていきます。



ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

## ふれあいの場

## ミニデイ紹介

Vol.45

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニデイ」の活動を紹介します。  
登録数：35グループ 登録者数：575人 (3月1日現在)

### 新笑ミニデイ(富沢)

平成28年度に立ち上げ、会員数26名、平均年齢80歳です。

月に1回、新見公民館で開催しています。

この日のミニデイは内容も盛沢山。通いの場の大切さの話や手遊び、体操にクイズ。ミニデイの名前の由来どおり、新見の皆さんは終始笑顔。

個性あふれるメンバーが集まってご飯を作ったりコーヒーを飲んだりしながら楽しく話ができる時間。次回は何をしようか？あの人は土曜日だと出にくいみたいだからミニデイの日を変えてみては？と皆で考える姿も素敵でした。

それぞれができることを、お互いに見守り協力しながらこれからも続けていきたいと、話されていました。



カメラの前では、いつもの笑顔がちょっと固いかな？



通いの場の大切さについて話される安原さん



歌を歌うと身体が動き出していつの間にか体操に



できる範囲で皆が何かを手伝います